

今回は、前回の1年生に続き、5月26日（木）に行われた体育大会で、2年生の皆さんが見つけた友達の良いところについて報告します。

今回の体育大会の中で2年生が感じたことを、体育大会後に書いた作文の中から紹介しましょう。

【クラスみんなについて】

- 同じクラスの子が種目に出ていると、とても大きな声で「がんばれ～！」と声を掛けていて、とても良いクラスだなと改めて感じました。

【クラスみんなについて】

- クラスのみんなが全力で種目に取り組んでいたことです。本番だけでなく、練習でも弱音をはかず、どのようにしたら記録が伸びるのかを調べたり、何度もチャレンジしてみて、うまくいくコツをつかもうとしている姿は、とてもかっこいいなと思いました。

【クラスみんなについて】

- 私は3位だったけど、座席に帰ると「ナイスファイト！」や「お疲れ！」などの声をかけてもらい、うれしかったです。

【クラスみんなについて】

- 「これは絶対私が最下位だ…」走る前からほぼあきらめていました。でも、召集の案内が来て、行こうとしたら女子のみんなが「頑張れ」って言ってくれたり、同じ組で走る子が手を差し出してくれました。その時のうれしさは今も忘れていません。

【女子リレーのメンバーについて】

- 女子リレーの子たちも、すごく頑張ってくれました。～中略～ あきらめずに頑張るってことは、種目を行っている本人にとっても、応援をしている人たちにとっても大切なことだと思います。

【クラスみんなについて】

- 自分の種目の時、緊張している私に、みんなが「頑張れ！」「応援してる！」など、優しい声をかけてくれたことがうれしかった。

【係の人たちについて】

- こうやって楽しい体育大会ができたのは、生徒会の人や委員会の人たちが前日から準備をしてくれたからです。とても感謝しています。

【Aさんについて】

- 私は長縄が苦手で、皆に迷惑をかけてしまうのではないかと心配でしたが、Aさんが「大丈夫だよ～！」と言ってくれたので頑張ろうと思えたり、少し安心できました。（縄を）抜けるのが遅くても、Aさんがカバーしてくれたりしたので、ありがとうと言いたいです。私もAさんみたいに誰かを励ましたり安心させたりできるような人になりたいです。

2年生の皆さんの作文の中で印象に残ったのは、「一生懸命頑張る姿」と「応援や励まし」との関係です。読むとわかると思うのですが、この2つには深い相互関係がありますよね。「応援や励まし」を受けた人は、喜びや勇気をもらい、一生懸命頑張ろうとする。「一生懸命頑張る姿」に対しては、カッコイイとかスゴイとか感じて、「応援や励まし」をもっとを送りたくなる…というような。

作文を読みながら、「体育大会でみんなが楽しそうだったのは、この2つの関係に原因があるんじゃないかな。」と考えていたら、こんな文章を見付けました。

「(うれしかったことは)自分が競技に出るのはもちろん、応援をすることです。理由はわからないけど、頑張っている人を応援するのは楽しいと感じたからです。」

納得です。一生懸命頑張ることも、それを応援することも楽しいんですね。